

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
7 5	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Meta-analysis of the relationship between alcohol consumption and coronary heart disease and mortality in type 2 diabetic patients.                  2型糖尿病におけるアルコール摂取と冠疾患発症率・死亡率に関するメタ解析</p>	
執筆者	
Koppes LL, Dekker JM, Hendriks HF, Bouter LM, Heine RJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetologia. 2006; 49(4): 648-52.	
キーワード	
アルコール、冠疾患、疫学、メタ解析、死亡率、総説、2型糖尿病	
<p><b>要 旨</b></p> <p>目的：                  本総説は2型糖尿病におけるアルコール摂取と長期冠疾患死亡率の関係について検討する。</p> <p>方法：                  蒐集できたデータの都合上メタ解析は総死亡率、冠疾患死亡率および冠疾患発症率についてのみ可能であった。                  PubMed を利用した論文検索を 2005 年 9 月まで行い、適切な論文をリストした。その中で 6 論文がコホート研究に関するもので上記の検討が可能であった。</p> <p>結果：                  メタ解析の結果非飲酒者に比べて1日6g未満の飲酒者の総死亡相対リスク(RR)は0.64(95%信頼区間0.49-0.82)であったが、1日6~18gおよび18g以上の比較的大量飲酒者では総死亡RRは有意ではなかった。致死性冠疾患および全冠疾患発症率のRRは非飲酒者に比べて3飲酒量群全てで有意に低く、RRは0.34~0.75であった。</p> <p>結論：                  一般人に確認されていることと同様に本メタ解析により適度の飲酒は2型糖尿病においても総死亡率と冠疾患発症率の低下を来すことが明らかになった。</p>	